

■デンマーク・台湾：エルステッド社、台湾の洋上風力事業の一部を売却へ

2018年11月28日のエネルギー専門サイトは、世界中で洋上風力事業を進めるデンマークのエルステッドが台湾の事業の一部を売却する予定であると報じた。エルステッドは自社で開発した事業の一部を売却することで、新規案件への投資資金を確保し社内にノウハウの蓄積を図っており、多くの洋上風力事業者も同様の戦略を採用し始めている。2018年11月27日にはエルステッドは英国沖合で建設中の Hornsea 洋上風力案件（121.8万kW）の50%を44.6億ユーロ（約5,700億円）でインフラファンドに売却した。今回の報道では台湾で落札した90万kWを対象に50%の権益を売却する方針とされている。2018年に台湾が実施した入札には欧州から多くの事業者が参加したが、落札できなかった事業者も多く、エルステッドの事業売却への関心は高いとみられている。